

漁況予報 いわし

第139号

2007年 1～2月漁期
(2007年1月18日発行)

＝ 概況 ＝

【まいわし】

主要定置網におけるマイワシ総水揚げ量は、11月が12トン、12月が6トン(速報値)で、前年同期(11月：89トン、12月：13トン)を大きく下回りました。

佐島地区のまき網は、11月に1日・1ヶ統で125kgの漁獲があったのみでした。

魚体は、相変わらず0歳魚(2006年級群)の中羽マイワシ(15～17cm台)が主体でしたが、1歳魚(2005年級群)の大羽マイワシ(20cm前後)も若干見られました。

2006年のマイワシ漁は、主要定置網で163トン、まき網で9トンの計172トンの水揚げ量でした。これは前年値651トン及び過去5年間の平均値1,802トンに遠く及ばず、2003年以來の100トン台となり、マイワシ資源の復調の兆しは見えません。

2007年も引き続き0歳魚主体の漁模様が続きそうですので、マシラスがどの程度湾内に来遊してくれるかに懸かってくるでしょう。

【かたくちいわし】

主要定置網におけるカタクチイワシ総水揚げ量は、11月が2トン、12月が4トン(速報値)で、前年同期(11月：15トン、12月：58トン)を大きく下回りました。

佐島地区のまき網は、出漁しても漁獲がほとんどなく11月・12月の2ヶ月間で1トン未満の漁獲量にとどまりました。

2006年のカタクチイワシ漁は、9月までは大型成魚(体長12cm以上)主体に高水準の来遊が続きましたが、10月以降成魚の来遊が切れ、9cm未満の未成魚主体の漁模様になったこともあり水揚げ量は急減しました。これは例年と同様の傾向ですが、特に2006年は落ち込みが顕著でした。主要定置網での年計の水揚げ量は約5,000トンで前年並みの高水準でした。

【しらす】

11月は近年まれに見る好漁で推移し、12月に入ってもやや少量ながら漁は続き、禁漁期間に入りました。

2006年のシラス漁は、江の島から東側では春から安定した漁で終始し、特に夏以降は好漁となり、年全体では前年を上回る好漁となりました。平塚など湾奥部では春が不漁で夏以降は好漁となったものの、年全体では前年を下回りやや不漁となりました。

＝ 予報 ＝

まいわし

今漁期は、中羽マイワシ(1歳魚、2006年級群)が漁獲の主体になるでしょう。

マイワシ太平洋系群の資源量推定値から今漁期の水揚げ量は、定置網を主体に約8トンと予測されます。

*縦軸：主要定置網+まき網の水揚げ量

かたくちいわし

今漁期は、小型成魚及び大型成魚が漁獲の主体になるでしょう。

太平洋北部海域の漁獲状況から、今漁期の漁獲量は、約499トンと予測されず。

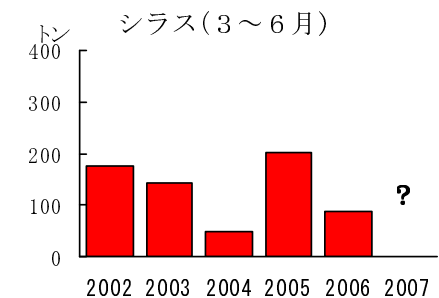
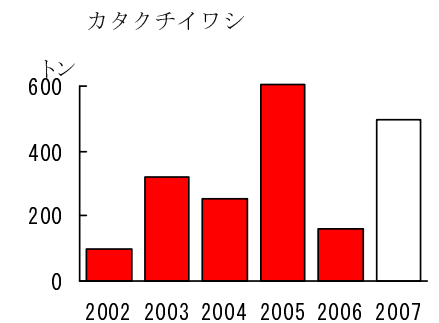
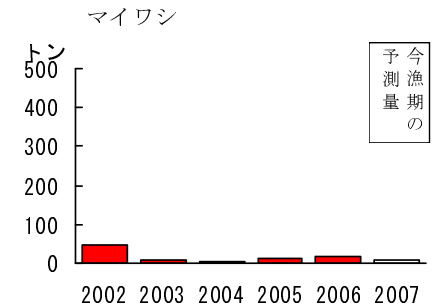
しらす

神奈川県のシラス漁業は、1月1日から3月10日まで禁漁です。当センターでは、解禁後の漁況予測のため、しらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、禁漁期間中に漁期前調査を実施します。

次号で経過報告をします。

本年もよろしくお願ひします!

過去5年の1・2月漁期の漁獲量
と今漁期の予測量



神奈川県水産技術センター資源環境部
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2313